

緊急アピール

高松市と牟礼町の合併の実現を求める!

平成17年5月30日

社団法人香川経済同友会
地方主権を考える特別委員会

高松市と牟礼町の合併の実現を求める緊急アピール

今日、市町は、大幅な財政赤字の下で進行する少子高齢化や地方分権の進展、さらには、三位一体改革などにより、厳しい変革と試練のときを迎えている。

一方で、住民の日常生活圏は行政区域を超えて広がっており、合併問題は、行財政基盤を強化し分権時代の住民サービスを幅広く担う自立的な基礎自治体を目指すとともに、広域的な行政課題への対応を図る上で、避けて通れない重要な課題となっている。

このようなことから、これまで、香川経済同友会は、市町合併に関し、次のような提言・アピール・シンポジウムを行ってきた。

- 「グレーター高松」構想の提唱 - 県都 50 万都市を目指して - (平成 3 年 1 月)
- 県下大同合併の提言 ~ 「生活圏」と「行政区画」の一致を目指して~ (平成 11 年 6 月)
- 緊急アピール「2005 年 3 月までに市町再編の完了を！」(平成 14 年 7 月)
- 地方主権シンポジウム「なぜ 合併しなきゃいけないの？」
~ 2005 年 合併特例法 タイムアップ寸前~ (平成 14 年 9 月)

県内の市町合併については、関係市町の努力により、合併への取組みが進み、従来の「43 市町」が、平成 18 年 3 月末には「18 市町」へと再編される見込となった。

しかしながら、県全体の発展の鍵を握る高松地域については、広域的都市機能の確保という視点からも、さらなる合併の推進を図る必要があると考えているところである。

特に、高松市と牟礼町の問題については、合併協議を終了し、合併協定書に調印したにもかかわらず、牟礼町議会で合併関連議案が 2 度にわたり否決されるという経緯をたどり、現在、合併の見込が立っておらず、先に合併を決断した庵治町が飛び地になる等、県の中核都市圏形成の阻害要因となるのではと危惧されるところである。

牟礼町は、庵治町・塩江町・香川町・香南町・国分寺町と同じく、通勤・通学や買い物、経済活動などのあらゆる分野において高松市と一体的な日常生活圏や経済圏を形成していることから、一体的な地域発展を目指すべきであるとの認識を有しているところである。

加えて、高松市との合併を最大の争点とした本年 4 月 24 日の牟礼町長選挙において、来年 1 月 10 日の高松市との合併を主張する高木町長が大差で当選したことで、高松市との早期合併を望む民意が明確に示されたものと考えられる。

よって、牟礼町を代表する町長及び町議会は、相互に連携・協力し、住民の多くが望む高松市との合併が早期に実現するよう、最大限の努力を払うべきである。

また、県においても、県都高松市の合併は、県勢の発展に大きな影響を与えるとの認識を持ち、両市町の合併の実現に向けて、その役割を積極的に果たすことを強く希望するものである。

さらに、高松市においても、四国の中核都市・県都として、周辺町の持つ個性を生かしながら一体となり、さらに魅力ある都市を形成していく必要があるとの観点から、強いリーダーシップを発揮しつつ、周辺町の立場を理解する姿勢に立ち、牟礼町との合併にも取り組むことを期待する。

以上のことから、香川経済同友会としては、高松市と牟礼町が早急に合併協議を再開し、庵治町・香川町・香南町・国分寺町と同じく、来年1月10日の合併を実現することを求め、ここに緊急アピールを行うものである。

牟礼町

議長 藤井 勇 殿

平成17年5月30日

社団法人 香川経済同友会

代表幹事 多田野 榮

代表幹事 木村大三郎

地方主権を考える特別委員長 鎌田 郁雄

緊急アピール
高松市と牟礼町の合併の実現を求める

平成 17 年 5 月 30 日

社団法人香川経済同友会
専務常任幹事事務局長 森 真佐男

〒760-8691 高松市紺屋町 1 番地 3 香川紺屋町ビル 6 階
TEL 087-821-8754 FAX 087-823-1160
E-mail kkdoyu@orange.ocn.ne.jp
URL <http://www.kagawadoyukai.or.jp>

・本書の無断コピー・転載はお断りします。